



広報便り

機関科教育及び交通事故防止研修

第 20-007

発行元：金沢消防団広報

発行日：2020年11月6日



運転者に合図し車両を誘導

機関科教育及び事故防止研修を実施



防火水槽からの水利を利用する様子

金沢消防団は、10月25日（日）、金沢区役所、及び金沢消防署車庫前において機関科教育及び交通事故防止研修を実施した。
当日は、団員34名が参加し座学と実習を行なった。機関科教育では、緊急時の消防車両の運行方法や交通規則を学んだ。
可搬式ポンプを用いての実習では、消火栓から水利を取る場合と防火水槽や河川の無圧水利を取る場合で



テープを張り運転席からの死角を確認

は、ポンプの取扱いの手順に違いがあるとの指導を受け、団員はポンプを操作しながら確認していた。
事故防止研修では、金沢警察署の交通課警察官より、事故現場の捜査手法から、車両運行時の注意点等の講習が行われた。団員は、ユーモアあふれる話に聞き入っていた。
区役所駐車場にて、分団に配備されている消防車の運転席からの死角を確認した



警察官による交通指導



ポンプを操作する団員

後、車両後退時、車両後方で運転者に的確に合図をする方法を学んだ。
団員は「思っていたよりも、車の前も後ろも見えていなかった」と話し、誘導の重要性を実感している様子だった。